

確かなまなびと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

堺市立白鷺幼稚園
園長 向井 敦

令和7年度 重点目標	たくましく心豊かに生きる人間性の基礎を育成する ～子ども一人一人に寄り添いながら心豊かに生き生きと遊ぶ子どもを育成する～ (1) 幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続 (2) 個に応じた支援の充実 (3) 豊かな人権感覚と道徳性の育成 (4) 体力向上と健康的な基本的生活習慣の確立
-------------------	--

まなびの現状 (3歳児) 初めての集団生活にとまどう姿も見られるが、遊んでみたいものや場を見つけて遊ぶ中で、好きな遊びを見つけはじめている。初めてふれるものにも意欲的にかかわろうとする姿が見られる。 (4歳児) 新入園児6人は、初めての集団生活で友達のかかわり方や生活のルールなど一つずつ知ろうとしている。在園の11人は、学年が一つ大きくなったことを喜び、意欲的に遊んで年長の様子をまねたり、自分の好きな遊びを楽しんだりする姿が見られる。 (5歳児) イメージや思いをもって遊びを進めたり、活動に取り組む姿が見られる。難しいことにも自ら挑戦する姿や、友達の姿に刺激を受けてやってみようとする幼児も多い。クラスの中で互いに良いところを認め合ったり、伝え合う姿も見られる。	こころ・からだの現状 (3歳児) 入園当初は、不安げな表情を見せることもあったが、教師と一緒に身の回りの始末をしたり遊んだりすることで、少しずつ安心感をもち始めている。友達存在を感じたり、身近な生き物や草花に目を向けたりと、目を向けようとするものや場が広がってきている。 (4歳児) 初めての新しい環境にとまどう姿が見られたが、友達とかかわって遊んだり、自然物や生き物にふれたりする中で、安心して遊ぶ姿が見られるようになってきた。 (5歳児) 進級したことを喜び、当番活動を張り切ったり友達と誘い合って遊んだりして意欲的に園生活を送っている。また、年下の友達に優しくかかわり、教えてあげたいという思いを持っている。自分の思いを通そうとしたり、思いを持っているが出し切れていない幼児の姿が見られるので教師の関わりが必要である。
--	--

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～9月)	達成状況 (年度末)			
								自己評価	学校関係者評価		
確かな学び	学びに向かう力	心豊かに生き生きと遊ぶ子を育成する	●個々の発達に応じた大切にしたい姿を探り、主体的に遊ぶ楽しさを味わえるよう、遊びの充実を図る	・子どもの姿容に対する保護者アンケート肯定的評価80%以上	園内研修・保育記録 保護者アンケート	年度末	毎月の保育のねらいを明確にし、学ばふ力の基礎を育めるよう主体的に遊ぶことができるように環境等の工夫を行った。また、5歳児が小学校への見通しを持ってよう小学校との交流を計画しすめた。	A	【保護者アンケートより】 ・(3) 自らの良さを認め、自信を持つ・・・88% ・(4) 主体的に取り組む姿・・・98% ・(6) 子どもが主体的に遊ぶ教育活動・・・100% ・(17) 子どもが興味・関心を持つ教育活動・・・95% 主体的な遊びや多様な表現が幅広く見られ、興味・関心に基づく取り組みが広がった。自己肯定感の育成に向け、援助の仕方と環境構成を引き続き工夫する。小学校との交流では、子どもだけでなく教員も交流を行った。	A	子どもたちが主体的に遊びのびと活動できる環境が整えられており、日々の保育の中で興味や関心を広げながら遊び込む姿が見られる。小学校との交流も計画的に実施され、5歳児が小学校生活を具体的にイメージし、安心して進学できるよう配慮されている点が高く評価できる。今後は園庭開放等を活用し、子どもたちの成長を保護者へ伝える機会をさらに増やすことで、家庭との連携がより深まることか期待される。
			自分で考え挑戦し、自信につながる環境構成を工夫する	・子どもの意欲につながる保護者アンケート80%以上	園内研修・保育記録 保護者アンケート			B	A	A	
小学校への円滑な接続のため、小学校生活を知り、小学校への期待を持つための交流を行う	・学期に2回以上の交流を実施		回数：学期に2回以上の実施	A							
確かな学び	保育力	組織的な保育実践力の向上と個に応じた支援を探る	園内研修や保育研修を通して資質を高め、組織的に保育実践を行う	・全組が研究保育に取り組み、その成果を市教委から講評を受け判断	講評・実践報告 教員アンケート	年度末	研究実践園として、テーマに沿った研修が行えるよう全職員で研修を行い、幼児の様子を支援できるような情報を共有した。また、個々の特性に合わせた支援を行った。	A	(公開保育アンケート結果より) ・公開保育は参考になった・・・100% ・先生方の声掛け(否定語)がほとんどないことがとても素晴らしいと感じました。繰り返し遊ぶことで子ども自身学びや工夫が見られてくるのだなと思いました。 ・先生方の工夫が顕著。子どもに対する言葉かけなども学べることが多く、参加できて本当に良かったと思います。	A	子ども一人一人を理解し、その姿を保育に生かす研究が継続的に進められており、園全体の教育内容が充実している。公開保育では、保育者の丁寧な言葉かけや子どもの思いを尊重した関わりが来園者から高く評価され、他園の参考となる実践が多く見られる。研究保育を通して職員間の共通理解が深まり、質の高い保育が継続されている。
			●幼児の実態と課題を丁寧に見取り、個々の特性に応じた支援と意図的かつ計画的な環境づくりを行う	・全教員で研究保育を行い、成果と課題を共有する(年3回、公開保育含む) ・教員アンケート80%以上	園内研修・研究保育 教員アンケート			A			
豊かな心	豊かな心	人とのふれあいをとおして、人とかかわる力・相手を思いやる心を育てる	多様な年齢との直接的および間接的な交流を通して、人とかかわる大切さや楽しさを味わう	・保護者アンケート80%以上	実態把握 保護者アンケート	年度末	地域の方や小学校との交流を通して季節の行事を体験したり、小学校への期待を高めたりした。また、様々な野菜を育て収穫し、食す喜びや、虫等の飼育を通して、命の大切さに気づけるよう、環境を工夫した。	A	【保護者アンケートより】 ・(11)一人一人が安心して自己表現できる環境・・・100% ・(12)思いやり・優しさ・命を大切にする心の育成・・・98% ・(14)人とかかわるクラス活動・異年齢活動・・・100% ・(15)植物・生き物など自然に親しめる環境・・・100% 地域交流や異年齢活動、小学校との連携を通して、人と関わる楽しさや思いやりの心の成長がみられた。植物の栽培や生き物の飼育、自然や命に親しめる環境も整えた結果、子どもたちの自然への関心が高まったり、命の大切さを感じたりする様子が見られ、豊かな心の育ちが確認できた。	A	地域との交流や異年齢活動が充実しており、人と関わる楽しさや思いやりの心が育まれている。自然や生き物に触れられる環境も整えられ、植物の栽培や飼育活動を通して命の大切さに気づく姿が見られる。これらの体験が子どもたちの豊かな心の育ちを支えており、園の特色として大変評価できる。
			一人一人の気持ちに寄り添いながら、安心して自分の思いを表現し伝えられる遊びや環境を工夫する	・保護者アンケート80%以上	実態把握 保護者アンケート			A			
		自然とのふれあいで命を大切にする心を育てる	身近な自然に関心を持ち、植物を育てたり、命の大切さに気づくように生き物を飼育したりする環境を整える	・進んで身近な自然に関わろうとしている ・保護者アンケート80%以上	実態把握 保護者アンケート			A			
健やかな体	体づくり	健康・安全に対する意識をもち、進んで体を動かして遊ぶ子を育てる	●基本的生活習慣の確立を図る	・発達に応じた保健指導を行っている ・保護者啓発を中心とした保健便りの発行 ・保護者アンケート80%以上	実態把握 保護者アンケート	年度末	生活チャレンジカードの取り組みを通して家庭と協力し、基本的生活習慣が身につくよう実践したり、毎月の遊戯訓練を欠かさず行い、安全指導を行ったりした。	A	【保護者アンケートより】 ・(5)(13)基本的生活習慣・・・100% ・(18)運動したくなる環境づくりや運動遊び・・・98% ・(19)安全に対する意識や習慣・・・100% 食育や体のしくみへの気づきを促す指導、清潔習慣の確認を通して健康意識の醸成を図った。生活チャレンジカードを活用して家庭と協力し、生活習慣の見直しを進めた。毎月の遊戯訓練や交通安全・防犯指導を継続し、安全に対する意識を高めた。なごき遊び、遊具での遊びかけ等足の遊びや運動を取り入れ、進んで体を動かす環境づくりに努めた。	A	生活習慣がよく身につけており、家庭と連携した生活チャレンジカードの取り組みが効果的に機能している。毎月の遊戯訓練や安全指導も継続され、子どもたちが自分の命を守る意識を高めている点か素晴らしい。また、園児が安心して体を動かせるよう、遊具や園庭、施設の安全点検や必要な補修を適宜行い、安全な環境づくりに努めていることも高く評価できる。運動遊びや遊具を活用した活動も充実しており、体を動かす楽しさを感じながら健やかな体づくりに進んでいる。
			毎月の遊戯訓練や安全指導を通して、自分の命は自分で守る意識を育てる	・安全指導や遊戯訓練が毎月実施できている ・保護者アンケート80%以上	実態把握 保護者アンケート			A			
			進んで体を動かす楽しさを感じられるような環境を整え、運動遊びを工夫する	・すすんで体を動かそうとしている ・保護者アンケート80%以上	実態把握 保護者アンケート			A			
子育て支援	家庭・地域との連携	在園児保護者の親育ち支援と地域の子育て支援センター的役割を充実させる	●園だよりやHP、園長講話で教育活動の周知や情報発信を行い、保護者啓発の充実を図る	・定期的な情報発信や保護者啓発が実施できている。 ・アンケート80%以上	HP更新回数 実態把握 アンケート	年度末	園だよりやHPで情報発信を行うとともに園長講話を通して、保護者への啓発を図った。また、月2回の未就園児招待を実施した。	A	【保護者アンケートより】 ・(21)地域の人たちとの交流・・・100% ・(22)HP等で情報発信している・・・95% ・(23)子育て支援に努めている・・・100% 園だよりやHPの定期更新、園長講話、月2回の未就園児招待を実施し、地域の子育て支援と情報発信の充実を図った。	A	HPや園だよりによる情報発信が活発で、保護者が園の教育活動を理解しやすい環境が整っている。園長講話について今後は回数や内容の幅を広げることで、さらに保護者の学びが深まることか期待される。未就園児招待も継続して実施されているが参加率が低い。周知方法や内容の工夫により、地域の子育て支援の場としてさらに発展する可能性がある。
			未就園児招待と入園前相談の実施や地域関係機関との連携の推進を図る	・未就園児招待の実施 ・アンケート80%以上	実態把握 保護者アンケート	年度末	A				

園長より
 本年度も、保護者の皆様や地域の方々の温かいご支援のもと、子どもたちは日々の園生活の中で大きく成長することができました。職員一同、幼児一人一人の思いや育ちを丁寧に受け止め、主体的に遊び、学ぶ姿を支える保育に努めてまいりました。小学校や地域との交流、自然とのふれあいなど、多様な経験を通して子どもたちの心と体が豊かに育っていることを嬉しく感じています。今後も、園と家庭、地域が連携しながら、子どもたちの健やかな成長を共に支えていけるよう取り組んでまいります。

学校関係者評価者から
 園全体として、子ども一人一人の育ちを丁寧に見取りながら、主体的に遊び学べる環境づくりがよく整えられている。小学校や地域との交流、異年齢活動、自然とのふれあいなど、多様な経験が計画的に取り入れられ、子どもたちの心身の成長につながっている点が高く評価できる。また、遊具や園舎の安全点検・補修を適宜行い、安心して過ごせる環境を維持していることも重要な取り組みである。職員間の連携や研究保育の充実により、保育の質が継続的に高められており、今後も園と家庭、地域が協力しながら子どもたちの健やかな成長を支えていくことが期待される。